



## 理事長あいさつ

新庄土地改良区

理事長 山科 朝雄

区報の発刊にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様方には、日頃より当土地改良区の運営と事業の推進に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

また、関係機関の皆様方には、平素よりご指導と絶大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年中は私事において、皆様に多大なご心配をおかけしました事についても、心からお詫び申し上げます。

さて、農業農村を取り巻く状況は、年々厳しさを増し、また大きな変化が続いております。主な要因として、農産物価格の低迷による農家所得の減、農家人口の減少、更には産地間競争や国際競争の激化、生産調整の増大等が挙げられ、農業者が地域農業の将来に希望を持たない状況が続いております。

しかしながら、このような時であればこそ、長期的な展望にたった、生産環境づくりを中心とした、しっかりした将来ビジョンを構築していくことが重要であると考えております。

昭和52年度を初年度として足掛け15年、幾多の問題を抱えながら、国・県・新庄市の絶大な協力を得まして、平成4年度に長年の夢であった母なる川最上川より取水する、国営新庄農業水利事業が完成し、さらに附帯県営かんがい排水事業も平成15年度に完成致しました。

県営ほ場整備事業、団体営ほ場整備事業等完了地区23地区と今年度完成予定の担い手小泉地区と野中地区2地区もあわせて、採択総事業費450億円余りの全ての事業完了となります。

申し上げるまでもなく、区の運営につきましては中長期的に農家負担を軽減出来るように、役職員が一丸となって努力する所存であります。

今後の計画ではありますが、未施行地区であった本合海上野地区と鶴の子地区については平成17年度から、地元関

係者の意見をもとに、調査計画の早期実現に向け、県及び関係者と一体となり、取り組んでいるところであります。

野中地区ふるさと農道緊急整備事業ですが、泉田川への橋梁も含めて延長480m全幅9m、歩道幅員2.5mの農道を今年度から着工します。

このふるさと農道緊急整備事業ですが、小泉地区で計画された市道一本柳小泉線の道路改良工事も当該事業で早期に実施出来る様、計画中であります。

新庄市の北部を南北に流れる一級河川泉田川で上流に設置されている、第一頭首工と第二頭首工、両頭首工に環境に配慮し魚が遡上出来る、魚道の建設も実現に向けて県当局に強力をお願いしているところでございます。

また、山形県として戦後初めて、10



国営清水揚水機場

月26日から28日の3日間に渡り、全国土地改良推進大会が本県で開催されます。特に現地研修会では全国各地から多くの方々が、この新庄最上地域を訪れ、清水揚水機場を中心に各土地改良施設を見学することになっております。

これは、当地域の良さを全国にアピールすることはもちろんのこと、地域住民に土地改良事業の効果や土地改良区の役割を広く理解していただく為の絶好の機会でありますので、組合員皆様と地域の人々から協力をいただき、大会が成功裡に終わる事を願っております。

最後になりますが、今年は災害のない豊かな稔りになることと、併せて組合員皆様のご健勝を祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。



国営駒場頭首工